

第一種奨学金貸与月額変更願(届)(減額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与月額を下記のとおり減額することを願い出ます。
つきましては、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容から、貸与月額の減額に係る一切の債務に関しても、
確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入のうえ学校に提出してください。※1～6については記入要領を確認しながら記入してください。

奨 学 生 番 号										学籍番号	ABCXXX	提出日	西暦 20 26 年 11 月 17 日									
6	2	X	0	4	X	X	X	X	X			生年月日	西暦 2004 年 10 月 1 日 (満 22 歳)									
学校名			学生支援大学							学年	4 年	フリガナ	ショウガク タロウ									
学部・学科 (課程・研究科)			経営学部									氏 名 (自署)	奨学 太郎									

自宅外から自宅へ戻った日付を記入。

■ 月額変更 (「第一種奨学金の貸与月額」を参照して記入してください。)

機構使用欄 (変更始期)	年		月	
	2	0		

本人現住所 (転居予定の場合は転居先住所) (☒ 該当にチェック) ※3	☒ 自宅 ☐ 自宅外	入居日 (必須)	2026 年 7 月 26 日入居		〒226-8503	神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3										
生 計 維 持 者 住 所	生計維持者氏名							〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3								
	(機 構 友)															
変 更 内 容 (①～④のうち)	生計維持者氏名							〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3								
	(機 構 育)															
■通学形態変更を伴う減額 ☒ ①自宅外月額から自宅月額へ→入居日の翌月 (月の初日の場合はその月) が減額始期 (選択不可) ■その他の減額(注)																
訂正が必要な箇所は修正テープを使ったり、上からなぞり書きしたりせず、二重線を引いて直近余白に正しく記入する。																
減 額 始 期 ※4	2	0	2	6	年		8	月	選択で	7月26日に自宅に戻ったので、減額始期は8月。 (①のとおり選択不可。希望はできません。) 国公立大学の自宅外最高月額から 自宅最高月額へ変更。						
従 前 の 奨 学 金 月 額	5	1	0	0	0	円	希望する奨学金月額			※	4	5	0	0	0	円
変 更 す る 理 由	一人暮らしをしていたが、地元での就職が決まり、卒業の見通しも立ったため、実家に戻った。															

【遡って減額した場合の調整例】

(本例では1月振込反映の申請期限までに不備がない状態で機構に届いた場合を想定しています。)

自宅外から自宅に戻ったことに伴い、本来は8月から45,000円とするべきところ、
8月から12月までの間、毎月差額6,000円、計30,000円の振込超過が発生している。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本来	51,000円	45,000円	45,000円	45,000円	45,000円	45,000円	45,000円	90,000円	満期
↓		↓ 差額 6千円	↓ 差額 6千円	↓ 差額 6千円	↓ 差額 6千円	↓ 差額 6千円	計3万円		
実際	51,000円	51,000円	51,000円	51,000円	51,000円	51,000円	15,000円	90,000円	満期

8月から自宅月額とすべきところ、11月まで自宅外の月額で振り込まれている。

1月反映の提出期限に提出されたため、12月も振込51,000円

1月に本来の額ー差額の振込
2月に本来の額の振込
(3月満期のため2か月分の振込)

1月には45,000円から振込超過となっている30,000円を差し引いた15,000円が振り込まれます。
(なお、3月卒業で満期を迎えるため、2月には2か月分がまとめて振り込まれます。)